

地域学修報告 一覧（2025年度）

【公開講座など一般向け】

NO	担当	活動名	実施日
1	地域総合センター	<p>「教養講座」 (会場：尾道市役所 多目的スペース1.2) 地域に開かれた大学をめざし、教育研究活動の一端を地域に還元することを目的として「教養講座」を開講。毎回担当講師が変わるオムニバス形式の講座。 《担当講師》 経済情報学科：渡邊久晃／田中政旭 日本文学科：藤本真理子／鷹橋明久 美術学科：西嶋亜美</p>	2025年 9月27日（土） 10月1日（水） 10月8日（水） 10月16日（木）
2		<p>「尾道学入門公開授業」 (会場：尾道市立大学 講義室) 地域に開かれた大学づくりの一環として、教養教育科目の講義「尾道学入門」を一般公開し、講座後質疑応答時間を設けた。 《担当講師》 外部講師：豊田雅子／小川長／新宅美和／吉田守／真野洋介／梅林信二／林良司 経済情報学科：前田謙二／林直樹／森本幾子 日本文学科：原卓史 美術学科：小野環／中村譲</p>	2025年度前期 (木曜日1限)
3	情報処理 研究センター	<p>「コンピュータ公開講座「写真でつづる、わたしのとくべつな一年」」 (会場：尾道市立大学 講義室) 講師：西原美彩（美術学科講師） 思い出の写真を数枚使い、パソコンのデザインソフト「Illustrator（イラストレーター）」を使って、世界にひとつだけのオリジナルカレンダーを制作した。</p>	2025年 8月18日（月）
4		<p>「情報科学研究会「人工知能の基本ー人工知能は魔法の箱じゃないよ！ー」 (会場：尾道市立大学 講義室) 講師：秋川 元宏（経済情報学科 講師） 今のAIの中心となっている「深層学習」がどのように働いているのかを、中学数学を用いてわかりやすく紹介。また、最近の研究の潮流や話題になっているサービスの使い方を取り上げ、AIの便利さと同時に注意すべき点について解説した。</p>	2025年 12月5日（金）

5		<p>「ワークショップ&ミニレクチャー：「絵」と「ことば」を結んであそぼう」</p> <p>(会場：mou尾道市立大学美術館)</p> <p>大学美術館でのカリキュラム展を鑑賞するとともに、近隣住民や市内高校生を含む参加者と、「ことば」と「絵」の関係について考えるレクチャーと、ワークショップを実施した。</p>	2025年 7月19日(土)
6	れんの会 藤本真理子 西嶋亜美 山田和大	<p>「写真を読む、文字を読む」</p> <p>公開研究会として、国語教科書の中に収録された美術作品の写真の読みと、美術評論の読みとを比べて、非連続テキストと連続テキストの読み方の異同について考えた。</p>	2025年 12月17日(水)
7		<p>「非連続テキストと連続テキストの交差にかんする基礎的研究教育の場を中心に」に関する研究成果の展示」</p> <p>(会場：尾道市立大学C棟1Fガラスケース展示)</p> <p>学長裁量教育研究費の助成を受けた研究における公開研究会を踏まえた研究成果の展示を行った。</p>	2026年 3月24日(火)～ 4月30日(木)
8	経済情報学部 経営コース 地域総合センター	<p>「代表論文などのポスター展示」</p> <p>(会場：尾道市立図書館中央図書館)</p> <p>経営コースの優秀論文賞を受賞した代表論文や津村ゼミ3年生の研究成果などの展示を行った。</p>	2026年2月～
9		<p>「経営コース卒業論文優秀論文等の展示」</p> <p>(会場：広島銀行尾道栗原支店)</p> <p>2024年度卒業論文のなかで、優秀論文となった論文、そして経済情報学部公開発表会において経営コース代表として発表した論文をポスター展示した。</p>	2024年8月7日～ 2025年7月
10	経済情報学部 経営コース	<p>「尾道市立大学経済情報学部講演会「ものづくりDXとB2Bマーケティング」」</p> <p>(会場：尾道市立大学 講義室)</p> <p>マーケティング論の授業の1コマの時間を活用し、尾道市立大学経済情報学部講演会を開催し、学生へのマーケティングの知識の深化と地域の方への知識の提供に努めた。講師には南知恵子先生(椋山女子学園大学教授、神戸大学名誉教授、大阪ガス株式会社外監査等委員、日本商業学会会長など)をお招きし、中小企業を含め企業のDX化が市場戦略や製品戦略に与える影響などを教えていただいた。</p>	2025年10月23日 (木)

11	木村文則 (経済情報学科)	「尾道北高校 データサイエンス講演「尾道を対象としたデータ分析」」 (会場：尾道北高等学校) 尾道を対象とした研究成果(卒論)の事例紹介。教員向け1回、生徒向け1回の計2回実施した。	2025年 7月30日(水) 10月6日(月)
12		「尾道北高校 出張講義(人工知能)」 (会場：尾道北高等学校) 「人工知能のしくみとその功罪」と題した講演を実施。人工知能の基礎知識および活用上の問題点(主に著作権)について語った。	2026年 2月20日(金)
13	南郷 毅 (経済情報学科)	「探究活動における数学の使い方－アンケートからデータ分析まで－」 (会場：兵庫県立龍野高等学校) 兵庫県立龍野高等学校や近隣の高等学校教員に対して、数学を活用した探究学習の指導をテーマに講演した。	2025年 12月8日(月)
14	森本幾子 (経済情報学科)	「2025年度卒業論文「尾道における音楽文化の歴史と施設活用」」 尾道音楽の歴史と現在の音楽イベント主催者へのフィールドワーク。	2026年3月
15		2025年度卒業論文「尾道商店街の現状とこれから」 尾道と太宰府の商店街の歴史の比較と今後の検討。	2026年3月
16		2025年度卒業論文「造船業から見る尾道の発展の歴史と展望」 尾道造船業の歴史と今後の課題についての検討。	2026年3月
17		2025年度卒業論文「尾道における空き家の活用方法と地域活性化」 尾道と愛媛県西条市の歴史と空き家活用の比較を尾道の商店数軒へのアンケートにより検討	2026年3月
18		「2025年度卒業論文「歴史のある町並みを比較する－「尾道」と「知立」－」」 尾道と愛知県知立の歴史の比較と今後の町並み保存のための検討	2026年3月

19	森本幾子 (経済情報学科)	<p>「尾道×宮島ミニ歴史講座」 (会場：尾道商業会議所記念館 2階議場) 江戸時代尾道と宮島の寺社への寄進に関する講座</p>	2026年 3月28日(土)
20		<p>「地域経済史」講義」 尾道と北前船の商取引の実際を仕切状により解説、江戸時代尾道の女性と消費活動、広島災害の歴史と地域経済など</p>	2025年度前期
21	日本文学科	<p>「尾道文学談話会」 (会場：尾道市役所 多目的スペース1.2) 日本文学科教員を中心とする一般向け公開講座。 《担当講師》 日本文学科：藤井佐美／灰谷謙二／宮谷聡美／吉田宰／高島彬／小畑拓也</p>	2025年4月～9月 毎月1回開催
22	日本文学科 尾道市立大学 日本文学会	<p>「おのみち文学三昧」 (会場：しまなみ交流館 大ホール) 日本文学科3年生研究発表会に基づく研究成果の公開、教員による日頃の研究成果の公開、および講演会の一般公開。</p>	2025年12月6日 (土)
23	山田和大 (日本文学科)	<p>「公開研究授業における指導・助言」 (会場：広島県立賀茂高等学校、広島県立尾道北高等学校) 「令和7年度広島県立賀茂高等学校公開研究授業(芸術科書道)」(10月22日)、「広島県立尾道北高等学校公開研究授業研究会(論理国語)」(11月5日)において指導・助言を行った。</p>	2025年 10月22日(水) 11月5日(水)
24		<p>「国語学力と主体的・対話的で深い学び」 令和7年度広島県高等学校教育研究会国語部会福山支部研修会において、高等学校国語科教員を対象に、模擬授業を含めた講演を行った。</p>	2025年 12月12日(金)
25	藤井佐美 (日本文学科)	<p>「尾道市浦崎神楽について」 (会場：尾道市浦崎公民館) ゼミ学生の指導を通して、浦崎神楽関連報告会への協力をを行った。</p>	2026年 3月7日(土)

26	美術学科 デザインコース	<p>「デザイン×私のまち 第23回 地域プレゼンテーション」</p> <p>(会場：尾道市立大学美術館／しまなみ交流館)</p> <p>尾道地域または学生の出身地域を題材に作品制作またはデザイン企画を行い、尾道市民へ向けてプレゼンテーションによる発表と展覧会を実施した。</p>	<p>展示会： 2026年1月30日 (金)～2月1日 (日)</p> <p>発表会： 2026年2月11日 (水)</p>
27	子どもワークショップの会 小西美幸 (美術学科)	<p>「子どもワークショップ」</p> <p>(会場：尾道市総合福祉センター)</p> <p>本学美術学科・美術研究科の学生と共に小学生向けの造形ワークショップを行った。第1弾「でこぼこの絵を作ろう！！」では、粘土や絵具を用いて半立体的な絵画を制作する活動を実施。第2弾「自分だけのオリジナルトートバッグを作ろう！！」では、無地のトートバッグにスタンプや絵具を用いて模様をつけたり絵を描いたりする活動を実施。</p>	<p>2025年 10月12日(日) 10月26日(日)</p> <p>2026年 2月22日(日) 3月8日(日)</p>
28	朝平敬香 小西美幸 (美術学科)	<p>「夏の音をつくって感じよう！」</p> <p>(会場：MOU尾道市立大学 美術館)</p> <p>「夏の音をつくって感じよう！」ワークショップを実施。尾道市美術館ネットワークの特別企画「ミッション・イン・ミュージアム2025」の一貫として行われた。子どもたちやその保護者の方、市内在住の方にご参加いただき、ペットボトルを用いたオリジナル風鈴作りを行った。</p>	<p>2025年 7月27日(日)</p>
29	小野 環 (美術学科)	<p>「SLAP it Project vol.5 小野環「百蝙蝠」」</p> <p>(会場：iti SETOUCHI)</p> <p>iti SETOUCHIの壁や柱、天井、吹き抜けなど、建物のさまざまな場所に福山市章の「こうもりマーク」を配し、そのマークを施した様子を記録した写真をコワーキングスペース tovioで展示し、収集した市章の映り込んだ古写真も公開しました。</p>	<p>2025年 4月19日(土)～ 9月7日(日)</p>
30		<p>「アーティストトーク「百の試み」」</p> <p>(会場：iti SETOUCHI)</p> <p>小野が自作やこれまでの創作活動について紹介するレクチャーを実施した。</p>	<p>2025年 4月26日(土)</p>
31		<p>「尾道建築塾 たてもの探訪編「失建築」」</p> <p>小野環、真野洋介(東京科学大学教授)が講師となり、尾道駅周辺のかつての建築群の跡地をめぐり、街の代謝の中で失われた建物に想いを馳せるイベント。</p>	<p>2025年 5月18日(日)</p>

32	小野 環 (美術学科)	<p>「街歩きツアー「こうもり山に行ってみよう」」 (会場：iti SETOUCHI ~福寿会館) 実際に歩きながら地域の変遷や歴史に触れるフィールドワーク。</p>	2025年 5月31日 (土)
33		<p>「トークイベント「福山の市章と武田五一」」 (会場：iti SETOUCHI) 福山の市章の歴史と、それを選定した福山出身の重要な建築家・武田五一の業績について、谷藤史彦（元福山美術館副館長、元下瀬美術館副館長）と対談。</p>	2025年 7月5日 (土)
34		<p>「ワークショップ「小さな家」」 (会場：iti SETOUCHI) iti SETOUCHIの空間を体験し見直すための実技ワークショップ。</p>	2025年 8月2日 (土)
35		<p>「美術学科公開講座「違った見方で日常空間を見てみよう」ーワークショップによる作品制作と展示」 (会場：尾道市立大学 美術館) 大学美術館の空間と近隣環境を用いて、実技ワークショップを実施した。</p>	2025年 8月19日 (火)
36	小西美幸 (美術学科)	<p>「造形ワークショップ～紙や粘土を使ってバラを作ろう～」 (会場：尾道市総合福祉センター) 尾道市社会福祉協議会が主催する「よりあい広場」の一貫として、尾道市民の方向けに紙や紙粘土を用いたバラのオブジェ作りの造形ワークショップを行った。</p>	2026年 3月1日 (日)